

# キャリア・パスポート 実施計画

## 1. 目的

- ・小学校から高等学校を通じて、児童生徒に自らの学習状況やキャリア形成の見通しを持たせ、活動を振り返り自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげる。
- ・キャリア・パスポートを通して、対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導につなげる。

## 2. 「キャリア・パスポート」とは

学習指導要領及び学習指導要領解説特別活動編から「キャリア・パスポート」の定義を次のように整理する。

「キャリア・パスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことである。

なお、その記述や自己評価の指導にあたっては、教師が対話的に関わり、児童生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげながら、学校、家庭及び地域における学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養うよう努めなければならない。

## 3. 実施期間

2020年4月より、すべての小学校・中学校・高等学校において実施。

## 4. 実施内容

- (1) 児童生徒自らが記録し、学期、学年、入学から卒業までの学習を見通し、振り返るとともに、将来への展望を図ることができるもの。
- (2) 学校生活全体及び家庭、地域における学びを含むもの。

- ①「教科学習」
- ②「教科外活動（学校行事、生徒会活動やクラブ活動、部活動など）」
- ③「学校外の活動（ボランティア等の地域活動、家庭内での取組、習い事などの活動）」

の3つの視点で振り返り、見通しが持てるような内容とするもの。

- (3) 各シートはA4判（両面使用可）に統一、学年では数ページ（5枚以内）とするもの。  
主に「各学期の振り返り」や「行事の振り返り」、「1年間の振り返り」を行うものとする。
- (4) 大人（家族や教師、地域住民等）が対話的に関わることができるものとするもの

- ① 記述に対して線を引く、花丸やコメントを書く。
- ② 振り返りをもとに、生徒に声掛けをする。

## 5. 指導上の留意点と管理

- (1) 「キャリア・パスポート」の記録内容が、偏らないように留意すること
  - (2) 「キャリア・パスポート」は自己評価、学習活動であり、そのまま学習評価としないこと
  - (3) 個人情報を含むことが想定されるため「キャリア・パスポート」の管理は、原則学校で行うものとする  
こと、個人情報の保護や記録の紛失に十分留意すること
- ① 保管は教室
  - ② 年度末・年度初めは、机移動の際に生徒に持たせていく

## 6. 今後の流れ、用意するもの・・・各学年総合担当

- ・新1年…中学の表紙 中学生の皆さんへ
- ・全学年共通…振り返りシート